

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

平成29年6月号 No.121

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成29年度木材関連団体総会開催

名古屋木材組合の通常総会は平成29年5月24日（水）午後1時30分から名古屋木材会館に来賓、組合員約40名の出席を得て開催された。西垣組合長はあいさつの中で、「消費税10%への移行が2019年10月に延期され、住宅・木材業界は緩やかな風が吹いているが、組合員数は現在196社で6社減少し厳しく、組合としても会員の拡大を図り、次の時代に備えた活動をしていきたい。また、記念部分林が33年生になり育っている。セミナーの一環で視察を企画したい」と述べた。

議事に移り、所定議案をすべて原案どおり承認可決。今年度は組織強化を図るため新規正会員30社、賛助会員20社の獲得を目標に努めていく。また「クリーンウッド法」の施行に伴い、業者の登録を担う期間が決まる秋までに、セミナーを2回ほど開いて対応していくとした。



西垣洋一 組合長

- 第1号議案 平成28年度事業報告の承認について
- 第2号議案 平成28年度収支決算の承認について
- 第3号議案 平成29年度事業計画の決定について
- 第4号議案 平成29年度収支予算の決定について
- 第5号議案 平成29年度組合費の賦課及び徴収方法の決定について

第6号議案 記念部分林特別会計

- ①平成28年度事業報告および収支決算の承認について
- ②平成29年度事業計画及び収支予算の決定について

以上各議案については事務局の説明の通り承認された。その後来賓を代表して名古屋市長（代理 名古屋市市民経済局田川産業労働課労働企画係長）から祝辞が述べられ総会が終了した。

また、午後2時20分から同所にて（一社）愛知県木材組合連合会の総会において、組合功労者、永年勤続従業員表彰式が行われ、当組合から下記の方々が表彰されました。

◎組合功労者知事表彰

西垣洋一（株山西）、丹羽耕太郎（名古屋木材株）

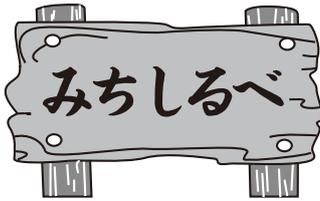
◎永年勤続優良従業員知事賞

玆道俊一郎、後藤幹雄（名古屋木材株）

鈴木康夫、水野正樹（株山 西）

（敬称略）

“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを



クリーンウッド法(5月20日施行)、運用は秋口以降か!? 業界を挙げて、取り組みの強化を!!

名古屋木材組合
組合長 西 垣 洋 一

5月20日クリーンウッド法(合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律)が施行されました。同法は、合法木材の流通・利用を公共調達から民間調達にまで拡大するものであり、持続可能な森林経営、資源の循環利用への一層の貢献が見込まれます。又合法木材の普及促進は、木材・木材製品においても、食品などと同様に産地を消費者に明示することで安全と安心を消費者に届けることができます。同法により合法木材の利用促進が強化されたことは、その担い手である木材業界にとって大変心強いことです。ただ、施行はされたものの登録実施機関が認定されていないため、木材関連事業者の登録がずれ込み実際の運用は秋口以降と思われます。

現状は運用がすぐに始まるのが難しいこともあってか、木材関連業界のクリーンウッド法に対する認識は低いと言わざるを得ない状況です。同法はあくまでも任意のもので強制力はありませんが、木材業界の将来の健全な発展には欠かせないものであり、同法の推進、合法木材の普及促進は業界が主体的に取り組まなければならないものです。

同法の特徴は最終需要家をも対象にしたことです。最も強い影響力を持つのは最終消費者であるため、ゼネコンや住宅会社が軒並み登録事業者となれば、流通や加工などの第2種木材関連事業者は否応なく対応を強いられます。しかしながら強いられたから仕方なく行動を起こすものではありません。情勢を見極めたいとの意向もあるかも知れませんが、同法を適正な木材・木材製品の流通に関しての真の意味で「正当な裏付け」のある認証制度とするためには、山元の立ち木が一般消費者に届くまでの様々な流通を知り尽くした、我々木材業界自身が主導的行動を取らなければいけないのです。

業界が発展して行くためには各々の企業が互いに切磋琢磨し、よりよい製品・サービスなりを消費者に届ける努力が重要です。それと共にいざという時には、業界が目的を1つにして一致団結してことに当たることができるかが大切になります。クリーンウッド法の推進は業界が一致団結して取り組むことができるか、その真価を問われています。

一例ですが同法は登録認定機関が木材関連事業者以外から選定されることとなっているだけでなく、認定対象者に対するいわゆる「資格」などは不要な制度と理解できます。しかしながら運用に当たっては木材という自然素材の特性から、やはり地域組合員であることなどの「資格」を有した業者が認定されるべきだと考えます。組合としましても、こうしたガイドライン設計となるよう国に対して働きかけをするなど、同法の推進、業界の健全な発展に向け活動して参りますので、「次世代の木の文化の創造」に向け皆様方の今まで以上のご協力をお願い致します。

◆ 合縁木縁 ◆

「国産材」

5月に入り真夏のような気温となり、あっという間に春が通り過ぎて行ったような気がします。

国産材にとっては寒切り原木の季節が終わり、気温が上がってくると虫が入り皮が剥けてしまい、取扱いに難しい季節となりました。

世界的に「違法伐採」の取り締まりを強化するという動きがあり、日本国内でも今まで「合法木材」の証明を発行していましたが、「クリーンウッド法」が導入されるようです。ヨーロッパでは違法伐採取り締まりにより、出材量が減少しているとも聞きます。

国産材にとってこの動きは、追い風となるのでしょうか？日本国内での違法伐採は、ほぼ無いという話も聞きます。

日本国内では、立木の成長率と伐採量を比べた時、圧倒的に成長率の方が上回っていると聞きます。

今まで以上に伐採ができたとした場合、輸入材に代わり国産材の需要・販売は高まるのでしょうか？国産材自給率50%は達成されるのでしょうか？

最近では「働き方改革」として残業の制限やフレックスタイムの導入等、ニュースでもよく耳にします。

国産材の伐採業者の減少や高齢化という問題点もよく耳にします。大工さんも同様です。「働き方改革」は避けては通ることのできない事で、人手不足も現実として起こっている事。何か打開策が必要です。

もっと国産材の需要・販売を増やしていきたい。製材・合板・バイオマス・輸出等いろいろな利用方法で活気は出てきていると感じます。

一般建築のみならず、お寺や神社・お城・家具・木工品等、いろいろな木製品を使ってもらい、木材という資源が豊富な日本で国産材の需要・販売を模索し、次世代にも資源を継承していきたいものです。

今回は、丸美産業(株) 長谷川博昭氏にお願いします。

◆ 自遊ご異見番 ◆

「黒部ダム」

皆さんは黒部ダム（正確には黒部川第四発電所通称 黒四ダム）へ行かれたことはおありか？富山県の立山黒部アルペンルートの高ポイントの一つであり、名勝・中部山岳国立公園にある世界的に見ても大規模なダムである。完成は1963年（昭和38年）6月、私と同じ年である。

4年前、50周年を迎えるこのダムを話題にしたNHKの放送を見たことがきっかけで、無性に本物をこの目で見たくなり、観光放水の始まる6月後半を待って出かけた。長野道安曇野の梓川インターから建設資材搬入の起点となった大町まで北上し、ここから西に向きを変えると大工事の出発点 扇沢に到着する。ここは現在扇沢駅と姿を変え、当時の資材搬入トンネルの中を今はトロリーバス（ガソリンではなく電気）が走り、約6キロ、16分で黒部ダム駅に、ここから220段の階段を上がるとダムを一望できる展望台に到着する。

眼前に現れたそのダムの巨大さと、人工湖黒部湖に湛えられた青い水と立山の美しさに感動したことは言うまでもないが、大自然の中に腰を据えた灰色のダムのコントラストは、ある意味ミスマッチであるも、だからこそ感じる凛とした神々しいほどの圧倒的な構造物を過去私は見たことがない。

大正時代より、その流量と発電所としては最適な場所と言われながら、人間が入ることを拒む峡谷奥地に資材を入れ、多くの犠牲者を出しながら7年を費やした困難極まる大工事であった史実に触れ、高度成長期の命運をも背負った技術者の英知と、ここに従事したすべての労働者の血と汗の結晶であるこのダムに思いを馳せるに、単なる観光地として訪れたことにいくらかの戸惑いを感じながら、慰霊碑に頭を垂れて新緑の立山を後にした。

訪れたことのない方はぜひ一度、自分の目で見ていただくことをお薦めしたい。美しい以外に感じる何かはここにはあると思います。ぜひ夏の晴れた日に。

この空前の土木工事の一端を理解するに、ぜひお薦めしたいのは吉村昭氏著の高熱隧道（こうねつずいどう 隧道＝トンネル）があります。黒四ダム工事に通じる黒部川第三発電所の工事現場についてのノンフィクション作品です。

お知らせ

☆☆☆ 臨海地帯の道路美化一斉清掃が行われました。 ☆☆☆

平成29年 5月23日(火) 弥富地区、5月31日(水) に飛島地区において、道路美化一斉清掃が行われました。

弥富地区 可燃ゴミ 630kg、不燃ごみ 360kg、計 990kg

飛島地区 可燃ゴミ 930kg、不燃ごみ 350kg、
プラスチックゴミ160kg 計1,440kg

のゴミを回収しました。今回は、側溝の土砂の清掃は行われませんでした(秋には行われます)。ご協力ありがとうございました。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

車内の荷物が狙われています!!

本年に入り、車上ねらい被害が多発しています。

車の窓ガラスが割られ、車内から現金や貴重品が盗まれる手口です。

(被害に遭わないために) ・車から離れるときは、車内に荷物を残さないようにしましょう

・夜間でも明るく、見通しが良い駐車場を利用しましょう

・センサーライトや警報装置等防犯グッズを活用し、目に見える防犯対策をしましょう

不審者・不審車両を見かけた際は、110番通報にご協力をお願いします。

◆ 広告コーナー

快適な環境づくりに取り組む

INOUE

■バグフィルター集塵機	■破砕機 ウッドグラインダー	■木質ペレット製造装置
■サイクロン集塵機	■粉砕機 ファンシュレッダー	■ブリケッタ
■定量排出装置	■火花探知器・安全装置	■送排風機
■トラック積載装置	■異物除去器	■ダクト部品

井上電設株式会社 | 名古屋市中区金山4丁目3-17
TEL(052) 322-5271
FAX(052) 332-5273
<http://www.inoue-d.co.jp> E-mail:tech@inoue-d.co.jp

新型 **GENEO** 誕生!

Clean Tech Diesel

トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
名港(営) TEL:0567-55-0722
小牧(営) TEL:0568-77-5365
高山(営) TEL:0577-33-4020

発行 名古屋木材組合
発行者 西垣洋一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10
TEL <052> 331-9386
FAX <052> 322-3376
【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 嶺木昌行
〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
TEL <0567> 57-2017
FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会